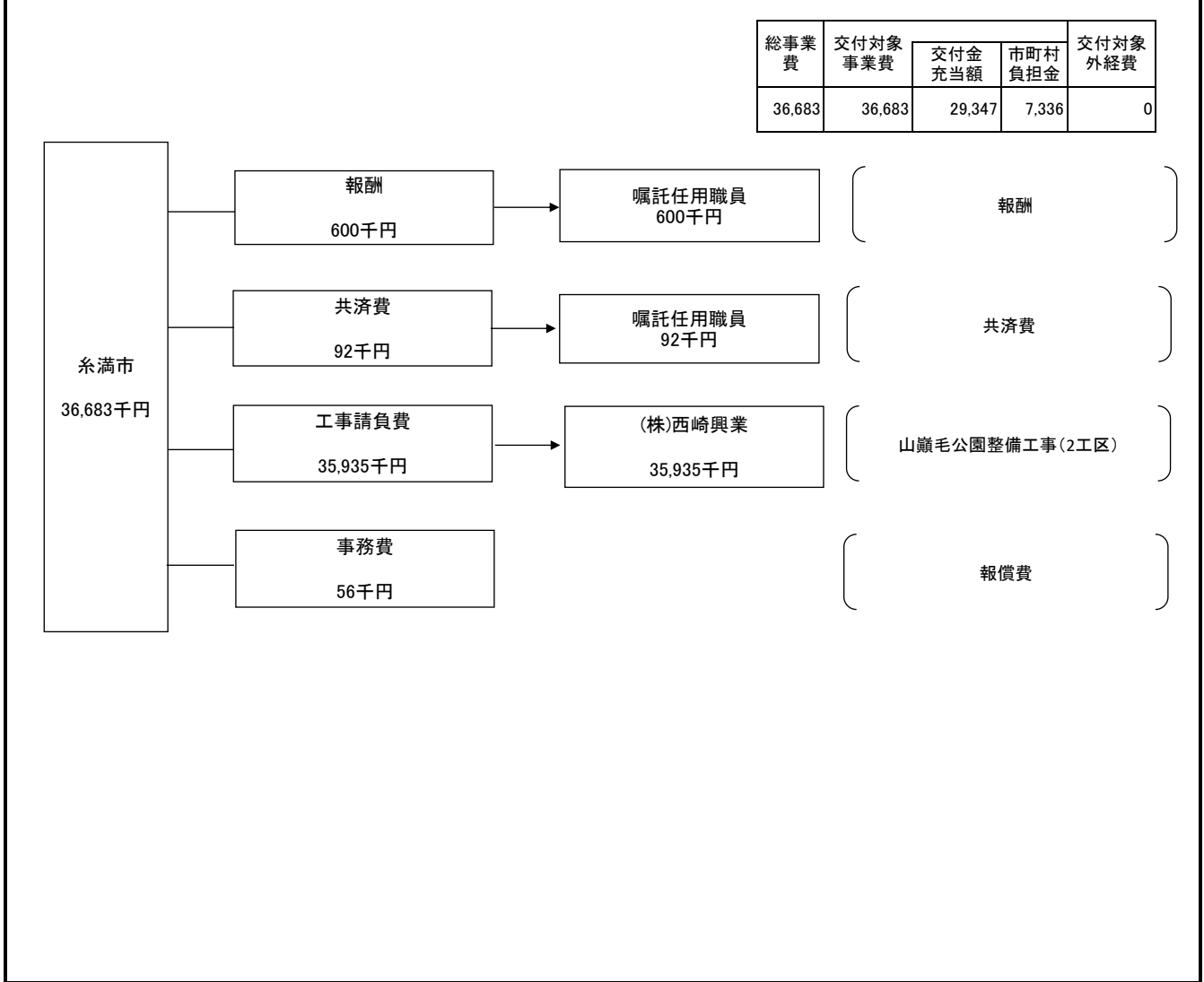


市町村名		糸満市					
令和元年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	沖縄らしい風景づくり事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-工		
担当部署名	建設部 都市計画課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	風景づくり計画に基づく景観形成事業を実施することにより、観光地としての魅力向上を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R4 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	
		(a)当初予算額	21,456		39,440		
	(b)予算現額	21,445		36,795			
	(c)増減額(b-a)	▲11	0	▲2,645	0		
	(d)繰越額		4,687		21,813		
	A.計(b+d)	21,445	4,687	36,795	21,813		
	B.執行済額	12,520	4,687	14,982	21,701		
	うち交付金充当額	10,016	3,750	11,986	17,361		
	次年度繰越額	4,687	0	21,813	0		
	執行率(%) (B/A)	58.4%	100.0%	40.7%	99.5%		
予算の状況の説明	隣接地で行われている工事との調整などに不測の日数を要し、令和2年度に21,813千円を繰越した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	重点地区実施設計	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
	重点地区施設整備工事(1工区)・(2工区)	目標	((1工区)実施)	((2工区)実施)	()	()	
		実績	(1工区)実施	(2工区)実施			
	重点地区景観形成への支援(都市景観形成(屋根瓦等の工事)に係る工事の補助金)	目標	(実施)	(実施)	()	()	
実績		実施	実施				
達成状況説明	重点地区施設整備工事(2工区)を実施した。 重点地区景観形成への支援を実施した。 工事の施工に伴う、工事用資材等の運搬路の選択に当たり、隣接地で行われている工事との調整などに不測の日数を要し、令和2年度に繰越している。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R4年度)
	重点地区施設整備工事(2工区)	目標	()	()	(完了)	()	()
		実績			完了		
	重点地区景観形成への支援(都市景観形成(屋根瓦等の工事)に係る助成金)	目標	()	()	(3件)	()	()
		実績			3件		
進捗状況説明	・重点地区施設整備工事(2工区)を完了した。 ・R1年度は重点地区景観形成への支援を3件行ったが、交付決定前であったため、市の経費において対応している。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・26年度に策定した基本計画に基づき糸満重点地区の風景づくりを推進する施設整備として山巔毛公園整備工事(2工区)を完了した。</p>	<p>重点地区の施設整備においては、地区の歴史性を鑑みる必要があり、これに関して詳しい人物が希少であるため、地域住民との連携、協力体制の構築を務める。</p>
今後の取り組み方針		
<p>重点地区施設整備工事を1工区、2工区に引き続き、3工区を進めていき、観光地としてのさらなる魅力向上を図っていく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

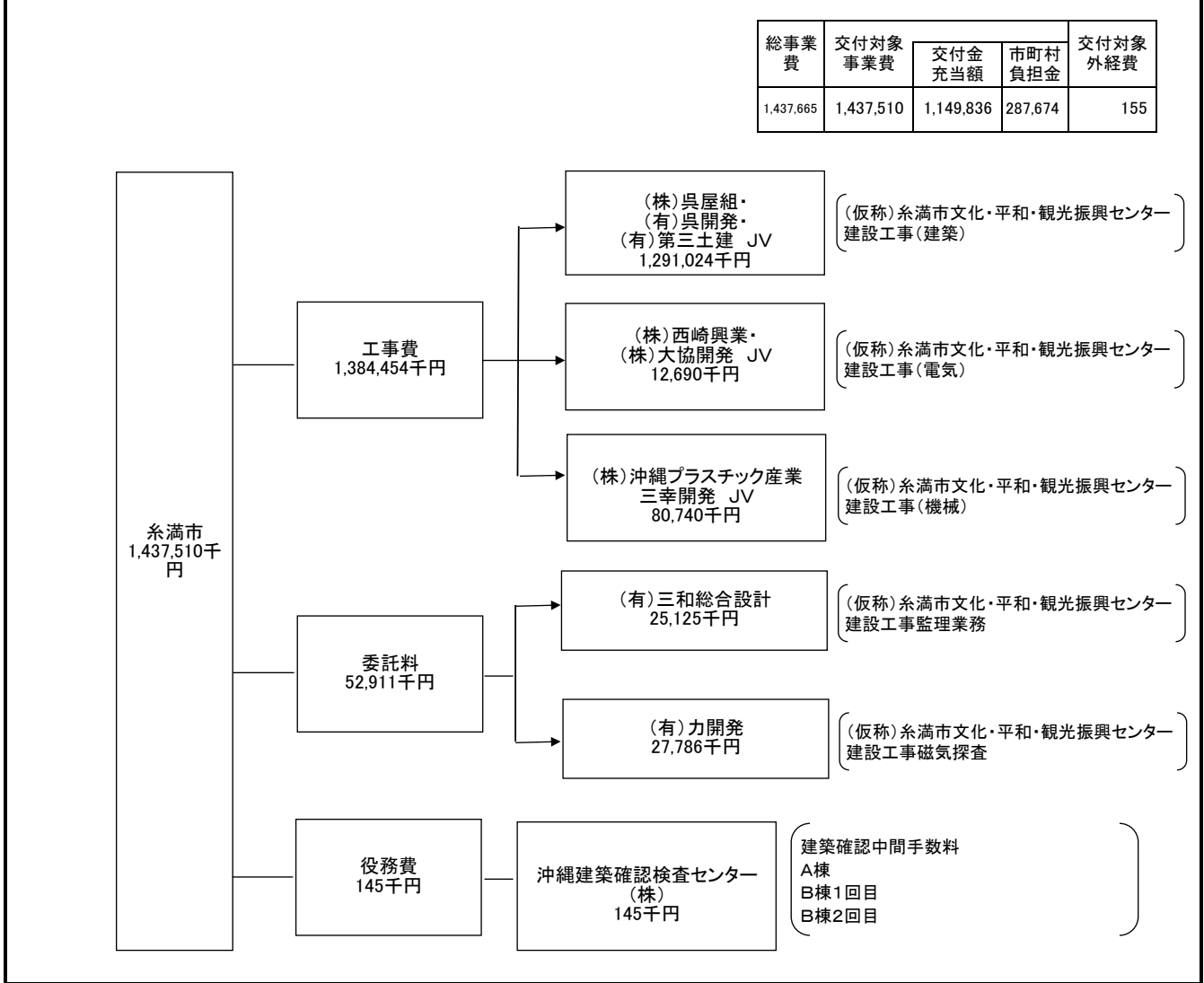


資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模について、不用額は、嘱託員の病気により一時休職となったことや、重点地区景観形成への支援が交付金対象外であったことによる2,645千円であり、適正な規模であったと考えている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○景観形成助成金の受益者は5割を負担しており負担関係は妥当であった。(交付金対象外)
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。

市町村名		糸満市					
令和元年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-② 文化交流・情報発信拠点施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(4)-エ		
	担当部署名	企画開発部 政策推進課		事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	文化の発信・交流
事業内容		糸満市の歴史的魅力や観光情報の発信と文化芸術の保全・継承の場及び観光客と市民の体験・交流活動が可能な拠点の確保を図るため、文化交流・情報発信拠点施設の整備を行う。					Ⅲ-1-(1)
	効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度		R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R3年度
		(a) 当初予算額	175,000	1,508,830			
	(b) 予算現額	133,803	1,437,665				
	(c) 増減額(b-a)	▲ 41,197	▲ 71,165	0			
	(d) 繰越額	0	0	885,771			
	A. 計(b+d)	133,803	1,437,665	885,771			
	B. 執行済額	122,261	551,894	885,771			
	うち交付金充当額	97,808	441,515	708,321			
	次年度繰越額		885,771	0			
	執行率(%) (B/A)	91.4%	38.4%	100.0%			
予算の状況の説明		平成30年度については建築・展示実施設計の完了、管理運営実施計画を策定した。令和元年度については、磁気探査の異常点確認のため不測の日数を要し、885,771千円を令和2年度に繰越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	(仮称)糸満市文化・平和・観光振興センター工事1年目の完了	目標	建築・展示・管理運営実施計画の策定	建築・電気・機械・工事監理・磁気探査業務	()	()	
		実績	完了	磁気探査業務完了			
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	当該工事に係る磁気探査業務(鉛直探査)について、2.5～3.5mの深度で多数の異常点が確認された。確認探査を行うため不測の日数を要し、建築・電気・機械工事及び工事監理業務等の令和元年度分完了が困難となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R4年度)
	(仮称)糸満市文化・平和・観光振興センター工事1年目の完了	目標	()	建築・展示・管理運営実施計画の策定	建築・電気・機械・工事監理・磁気探査業務	()	()
		実績		完了	磁気探査業務完了		
	【参考指標】 ①地域発信エリア(常設展示室、企画展示室)年間利用者約25,000人②創造発信エリア(大ホール、多目的室)年間利用者約40,000人③継承体験エリア(活動室、会議室)年間利用者約22,000人		目標	()	()	()	()
	実績						
進捗状況説明	磁気探査の異常点確認のため不測の日数を要し、令和元年度分の建築・電気・機械工事及び工事監理業務等については、令和2年度に繰越している。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(本体工事) ・令和3年8月末の完成に向けて、工程管理を行う。	(運営体制) ・施設を有効活用するため、関連部署等との調整や事業計画等についての詳細の検証。 ・供用開始を見据えた事前の周知活動や誘客の手法を調査する。
	(運営体制) ・令和4年4月供用開始に向けた組織体制の強化。	
今後の取り組み方針		
(本体工事) ・令和3年8月の完成に向けて、適切な工程管理を行い完成に向けて取り組む。 (運営体制) ・機構改革等による組織体制の強化、運営組織を決定し開館に向けた準備に取り組む。 ・誘客や施設管理について、民間活力の導入を図る。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事及び委託の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については不用額は71,165円の入札残額であり、適正な規模であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	